



夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

篠山産業高校 春季県高校野球大会で初のベスト8入り

令和8年度 春季兵庫県高等学校野球大会が県内各地で開催され、藤田喜継監督率いる篠山産業高校野球部(35人)が、創部以来初となるベスト8入りを果たしました。

1回戦から登場した同高は、姫路東高校との初戦を10-5で打ち勝つと、続く2回戦の尼崎小田高校戦でも5-2で勝利し、2年連続でベスト16入りを果たしました。

3回戦は昨夏ベスト4の小野高校が相手。1点を追う6回、一死1・3塁のチャンスに佐々木選手と澤選手が連続タイムリーヒットを放ち、勝ち越しに成功。4-3で競り勝ち、初の準々決勝に駒を進めました。準々決勝は4月29日にウインク球場(姫路市)で行われ、高砂高校と対戦。1回に3点を先制されると、4回に角選手のヒットで1点を返し、反撃の体制を見せるも、チャンスであと1本が出ず、1-3で惜敗し、ベスト4進出を逃しました。



試合を振り返り、井関春道主将は「目標としていたベスト8入りを果し、とてもうれしいです。また、地域からも温かい声をいただき、とても感謝しています。夏の大会に向けてさらにレベルアップし、ベスト4を目標にがんばりたい」とにっこり。藤田監督は「この冬、守備力の強化に重点的に取り組んできたことが春の大会でしっかりと発揮できました。今後は、相手チームに研究されると思うので、あらゆる面でスピードアップしていきたい」と熱い思いを話されました。

大学連携でんしよばと

問い合わせ
神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ ☎FAX 506-6628
丹波篠山フィールドステーション ☎FAX 506-2366

えきラボ通信



篠山イノベーターズスクール 2025年度 修了式を行いました!

2025年度11期の修了式が開催されました。今年度は起業エントリーコース、起業アドバンスコース、コミュニティビジネスコース、地域おこし協力隊起業支援型コースの4コースを設け、計26名が修了発表を行いました。今回は、地域おこし協力隊起業支援型コースの受講生を紹介します!



集合写真



修了証書授与の様子

篠山イノベーターズスクール11期修了生 河田順子さん(丹波篠山市在住)

スクールの講座では農村ビジネスなどを学びました。私は地域おこし協力隊員としても活動しており、里山の課題について現場で見聞きしているので、講座で学んだ知識と現場での経験がつながり、より一層、理解が深まりました。

ビジネスプランの作成においては、たくさん方向転換をしましたが、スクール講師と相談しながらまとめました。

この4月からは、作成したビジネスプランをもとに、鹿肉料理のお店をオープンします。人とのつながりを大切にするお店なので、ぜひたくさんの方に来ていただきたいです!

ユネスコ創造都市として工芸家の活動が盛んに。
市内で活躍する工芸家たちの手仕事に迫り、
作品に込められた思いや制作のこだわりを紹介します。



鉾山都市

GEAD

和田佳樹さん



丹波篠山市初田地区にある古民家で、スチームパンク(※1)の世界観を追求し、アクセサリを制作・販売されている和田佳樹さん。
小さい頃、テレビで見た刀鍛冶の技に魅了され、金属の道(彫金)を志すことになりました。その後、大阪芸術大学の専門学校で金属工芸を学び、卒業後はブライダルジュエリーの会社に就職しました。しかし、個人でやりたいという思いがあり、独立を決意。2013年にジュエリーアクセサリブランド「GEAD」(ギアッ



ド)を立ち上げ、西宮市や宝塚市で活動を開始されました。「GEAD」は、歯車の「ギア」と「都」をもじったもので、鉾山の町という私の頭の中に広がる架空の世界が舞台です。そこに住む人々の物語をベースに、その世界で人々が身に付けているものや作り上げた品々を制作しています」と話されます。
「いつかは、田舎の古民家にGEADの世界を作りたい」と思っていた和田さん。当時、お付き合いをしていた妻の佳子さんに会いに丹波篠山へ来るたび、都市部に

鉾山都市 GEAD
彫金アクセサリ
工房ショップ
Atelier cafe CAST

- 営業日
ホームページでご確認ください
- 所在地 初田470



(※1)蒸気機関が主要な動力源として普及している世界を舞台にしたSFジャンルのひとつ
近接しながらも田園風景が残るこの土地に魅了され、2024年10月に丹波篠山に工房&ギャラリーを構えられました。その後、ギャラリー内には、佳子さんが切り盛りするカフェ「CAST」がオープン。地域の皆さんや芸術家が集う場となっています。
和田さんは、「作品づくりで一番大切にしているのは、自分の世界観を壊さずにイメージできるかということ。自分の好きなものを形にすることは、とても楽しいです」とにっこり。「今後は、次のステップとして、オブジェの制作や、アクセサリ以外の身の回りの品も制作できればいいですね」と話されました。